

教職員の働き方改革の実現について

令和元年度の取組

優良事例の水平展開
効果のあった取組を全校へ普及するとともに、学校における働き方改革を一層進めるための改善や体制の充実を図る

次年度以降のさらなる抜本改革の準備

計画	前期までの取組内容												
方向性1 校務支援システムの活用推進 ◇校務支援システムの改善 通知表等の帳票の改善、操作方法の動画マニュアルやFAQの作成 ◇安定的な運用・サポート体制の確保 ICT支援員の派遣、活用推進委員会の開催 ◇安全に運用するための対策 セキュリティ研修の実施	○活用推進委員会で来年度施行される新学習指導要領に対応した通知表の様式について協議 ○動画マニュアル、FAQを作成 ○ICT支援員がサポートを実施 <ul style="list-style-type: none"> ・学校訪問 232件（4～8月計） 4～5月に全校訪問、随時要請訪問 ・電話対応 3,260件（4～8月計） 4月当初は新任管理職等から問合せ多数 6～7月は成績処理等の問合せ多数 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> ○校務事務処理の時間削減 一人当たり約19時間減（前年比） <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>業務内容</th> <th>4～7月 業務削減時間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>テスト結果入力等</td> <td>△6時間40分</td> </tr> <tr> <td>名簿登録、活用等</td> <td>△6時間40分</td> </tr> <tr> <td>出席簿の処理</td> <td>△2時間40分</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>△2時間40分</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>△18時間40分</td> </tr> </tbody> </table> </div>	業務内容	4～7月 業務削減時間	テスト結果入力等	△6時間40分	名簿登録、活用等	△6時間40分	出席簿の処理	△2時間40分	その他	△2時間40分	計	△18時間40分
業務内容	4～7月 業務削減時間												
テスト結果入力等	△6時間40分												
名簿登録、活用等	△6時間40分												
出席簿の処理	△2時間40分												
その他	△2時間40分												
計	△18時間40分												
方向性2 静岡市型部活動システムの推進 ◆静岡市立中学校部活動ガイドラインの全面実施（令和元年8月～） ◇外部顧問配置の拡充 平成30年度 17名 → 令和元年度 25名 ◇地域社会と協力して部活動を充実させていく更なる方策の検討	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> ○8月から部活動ガイドラインが静岡市立中学校で全面実施 <ul style="list-style-type: none"> ・平日週3日、土日どちらか一日、合わせて週4日の活動 ・全43校が遵守 </div> ○外部顧問を21校24名配置 <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度より配置校が8校増え、7名増員 ⇒ 部活動顧問教員の負担を軽減 ○静岡市体育・文化連携協議会の実施（5月、7月） <ul style="list-style-type: none"> ・地域クラブの創設やエリア制部活動の設置について協議 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H30</th> <th>R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>外部顧問</td> <td>17名</td> <td>24名</td> </tr> <tr> <td>外部指導員</td> <td>123名</td> <td>115名</td> </tr> </tbody> </table>	年度	H30	R1	外部顧問	17名	24名	外部指導員	123名	115名			
年度	H30	R1											
外部顧問	17名	24名											
外部指導員	123名	115名											
方向性3 教職員の意識改革と時間管理の徹底 ◇日直を置かなくてもよい期間の拡充 夏休みに加えて、冬期休業期間にも実施 ◆スクール・サポート・スタッフの配置 10月から大規模校9校に配置 ◇出退勤管理の全校実施 校務支援パソコンによる労務管理	○日直を置かなくてもよい期間の実施【8月13日（火）～16日（金）】 <ul style="list-style-type: none"> ・全125校で実施 ・期間中の電話対応2件 ○スクール・サポート・スタッフ <ul style="list-style-type: none"> ・9人の募集に対して40人の応募 10月から小学校8校、中学校1校へ配置 ○校務パソコンによる出退勤管理に対しての各校の意識が高まっている。 <ul style="list-style-type: none"> ・管理職へアンケート「今後、出退勤管理を行っていくのは困難ではない」77.5% ・一方で「記録修正が翌月まで行えない」という課題もある。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ○全4日間実施した学校 124校 ○期間中の休暇等取得率 95% 全職員（100%）が取得 44校 90%以上の職員が取得 112校 </div>												
方向性4 推進協力校の指定による研究 ◇推進協力校における研究の継続実施 西奈小学校、清水第四中学校 ◇各校の好事例を広めていく環境づくり 校務支援システムで閲覧する仕組みづくり 校長研修会等における事例紹介 時間外電話対応の環境整備	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> ○推進協力校2校で研究実践 4～6月の時間外勤務時間が一人当たり24.9時間減少（前年度比） </div> ・夏休み自由プール廃止（教職員の負担を軽減） ・4月の家庭訪問廃止（希望制の面談に代替） ・5月の運動会を10月へ、11月の修学旅行を12月へ変更（繁忙期の緩和） ○好事例の普及等 <ul style="list-style-type: none"> ・校長、教頭研修会等で好事例を紹介 ・学校における働き方改革プラン推進委員会で時間外電話対応のルール検討 												



後期の取組
◇令和2年度の実施に向け帳票の見直しや一部機能の改善を図る。 <ul style="list-style-type: none"> ・7月に実施したアンケートを基に、効果を検証、改善につなげていく ・現場から要望があったアンケート機能や掲示板の活用方法を学ぶ希望研修の実施 ・全教職員にセキュリティ研修を実施（10月～11月）
◆「静岡市立中学校部活動ガイドライン」の実施状況の把握 <ul style="list-style-type: none"> ・全中学校の教員にアンケートを実施（12月） ・外部顧問配置校にアンケート調査及び聞き取り調査を実施（12月） ◇引き続き、地域社会と協力して部活動を充実させていく体制づくりを検討 <ul style="list-style-type: none"> ・各協議会やスポーツ振興課と協議を行う予定
◇日直を置かなくてもよい期間の拡充 <ul style="list-style-type: none"> ・冬季休業期間（12月26日、27日）にも実施 ◆令和2年度の「静岡市型35人以下学級」完全実施に向けた準備 ◆スクール・サポート・スタッフ配置による効果検証 ◇より正確な出退勤管理の徹底 <ul style="list-style-type: none"> ・より良い出退勤管理にできるようシステム改良を検討
◇推進協力校2校の研究実践のまとめ 2年間の研究成果を全小中学校へ波及 ◇各校の好事例を募集、広めていく環境づくり <ul style="list-style-type: none"> ・新たな視点から授業やその準備を効率化する取組事例を募集、紹介していく ・令和2年度より全小中学校で取り組むべき事項の決定と保護者、地域への周知

教員の長時間労働対象者の割合 目標 22%（H30年度 24.8%）
 学校における働き方改革を着実に進め、教員の長時間労働を是正し、子供たちと向き合う時間や教職員の見聞を広げる時間を創出することで、働き方改革プランの目的「教育の質を高め、児童生徒の資質・能力の向上を図る」ことを実現する。